中国・四国地方

名前

問1　日本の各都市の気候統計を分析した際、香川県高松市のように「1月の降水量が約50mm、8月の降水量が約100mm」という、夏・冬ともに降水が控えめで、年間を通じても雨が少ない特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 太平洋側の気候
2. 中央高地の気候
3. 日本海側の気候
4. 瀬戸内の気候

問2　香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため
2. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため
3. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため
4. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため

問3　地図上で広島県西部の沿岸に位置し、中国・四国地方最大の人口を有する都市の特徴として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。
2. 本州と四国を結ぶ瀬戸大橋の起点があり、交通の結節点となっている。
3. 政令指定都市に指定されており、日本三名園の一つである後楽園がある。
4. 四国地方最大の都市であり、夏目漱石の小説の舞台としても知られる。

問4　広島県にある厳島神社の社殿が、陸地ではなくわざわざ潮の満ち引きがある海上の区域に建てられた理由として、最も関連の深い背景を選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）

1. 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。
2. 当時の瀬戸内海では水軍の勢力が強く、軍事拠点としての機能を高めるために海上を占拠したため。
3. 木造建築の腐食を防ぐために、常に海水で床下を洗浄できる構造が望まれたため。
4. 大陸からの使者を迎える際、船から直接参拝できるように利便性を追求した結果であるため。

問5　四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。
2. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービス業の割合が他の産業より極端に高い。
3. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。
4. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。

問6　西日本の地図において、中国地方の日本海側に面している県のうち、東側に位置する鳥取県のすぐ西側に隣接している県はどこですか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 山口県
2. 岡山県
3. 広島県
4. 島根県

問7　1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと
2. 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと
3. 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと
4. 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと

問8　交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）

1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。
2. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。
3. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。
4. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。

問9　吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。
2. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。
3. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。
4. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。

問10　鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観
2. 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並ぶ工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観
3. 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観
4. 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観

問11　大阪市場における徳島県産真鯛の取り扱い量は、1985年の3トンから2010年には28トンへと約9倍に急増しています。このような変化をもたらした最大の要因として考えられるインフラの名称を選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 本州四国連絡橋
2. 青函トンネル
3. 関門橋
4. 関西国際空港

問12　ある統計資料によると、特定の農産物の国内生産量において、香川県が96.5%という圧倒的な割合を占めています。香川県（特に小豆島など）でこの農産物の栽培が盛んになった理由として、最も適切な説明を選択してください。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 東南アジアの気候に似て、高温多湿で年間降水量が非常に多いため
2. 北欧の気候に似て、冷涼で夏場の日照時間が極めて長いため
3. 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため
4. 中央アメリカの高原地帯に似て、火山灰土壌で年中冷涼なため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 瀬戸内の気候	高松市などの瀬戸内海沿岸で見られる気候は「瀬戸内の気候」と呼ばれます。この地域は季節風の影響を受けにくいため、梅雨や台風の時期を除いて降水量が少なく、日照時間が長いのが特徴です。冬に雪が多い日本海側の気候や、夏に雨が多い太平洋側の気候とは、季節ごとの降水パターンの違いから明確に区別されます。
問2	答え 1 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問3	答え 1 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。	問題文が指す都市は広島市である。広島市は中国・四国地方の地方中枢都市であり、行政機関や企業の支社が集まっている。後楽園があるのは岡山市、四国最大で小説の舞台（『坊っちゃん』）として知られるのは松山市、瀬戸大橋の本州側の起点は岡山県倉敷市であるため、他の選択肢は誤りである。
問4	答え 1 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。	古くから宮島（厳島）は島全体が神として崇拝される「神体山」のような存在でした。そのため、神聖な陸地に直接柱を立てたり建物を建てたりすることを恐れ、海上に社殿を築いたとされています。これは自然崇拝の考え方が建築の形態に大きく影響を与えた事例といえます。
問5	答え 4 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。	徳島県は伝統的な藍染めや製薬業の基盤から発展した化学工業のほか、近年ではLEDなどの先端技術に関連した製造業も盛んです。そのため、四国地方の中でも製造業の就業者割合が高く、第2次産業が県の産業構造において重要な役割を果たしている点が、試験でも頻出のポイントとなります。
問6	答え 4 島根県	中国地方の日本海側には東から鳥取県、島根県の順に県が並んでいます。鳥取県と混同されやすいですが、西側に位置するのが島根県であることを地図上の位置関係から把握しておくことが重要です。
問7	答え 3 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問8	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国の間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。
問9	答え 2 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問10	答え 4 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観	中国・四国地方を北から南へ横断する場合、まず日本海側（山陰）では鳥取砂丘に代表される海岸地形が見られます。次に中央部の瀬戸内海沿岸（瀬戸内）へ進むと、波の静かな環境を活かした石油コンビナートなどの重化学工業地帯や、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋が位置しています。さらに南下した四国（南四国）の愛媛県などでは、温暖な気候と傾斜地を活かしたミカン栽培が盛んであり、ミカン畑の広がる景観が特徴です。
問11	答え 1 本州四国連絡橋	徳島県と兵庫県、香川県と岡山県、愛媛県と広島県をそれぞれ結ぶ「本州四国連絡橋」の開通は、四国の産業に大きな変化を与えました。特に神戸・鳴門ルート（明石海峡大橋など）の全線開通により、徳島県から関西圏へのアクセスが飛躍的に向上しました。これにより、1980年代にはフェリー輸送で時間がかかっていた真鯛などの特産品が、トラックによる高速輸送で迅速に大阪市場へ届けられるようになり、流通量が劇的に増加しました。
問12	答え 3 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため	オリーブの栽培には、地中海沿岸に見られるような「乾燥した夏」と「温暖な冬」という条件が重要です。香川県を含む瀬戸内海沿岸は、季節風が山地に遮られるため年間を通じて降水量が少なく、日照時間が長いという特徴があり、オリーブの生育環境として日本国内で最も適していました。